



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月27日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)島田 和幸
 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石神 幸宏
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	25,889	10.2	1,215	—	1,262	—	761	—
29年3月期第1四半期	23,483	6.2	△114	—	△77	—	△241	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 729百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △303百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	12.06	11.92
29年3月期第1四半期	△3.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	85,084	71,680	83.5
29年3月期	85,677	72,402	83.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 71,017百万円 29年3月期 71,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	29.00	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成30年3月期(予想)第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成30年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,750	7.8	1,500	—	1,550	—	900	△76.8	14.29
通期	105,000	9.0	6,000	167.3	6,100	155.7	4,000	△22.3	63.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 2社(社名)株式会社ファンケル化粧品
株式会社ファンケルヘルスサイエンス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	65,176,600株	29年3月期	65,176,600株
30年3月期1Q	1,821,451株	29年3月期	2,184,389株
30年3月期1Q	63,164,358株	29年3月期1Q	62,626,710株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調となったものの、海外情勢の不透明感や消費者の節約志向を背景に国内の消費環境は力強さを欠く展開となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が増収となり、全体では25,889百万円(前年同期比10.2%増)となりました。営業利益は、増収効果による売上総利益の増加に加え、インターネットを活用した広告宣伝費の効率的な使用に努めたことなどにより、前年同期に比べて1,329百万円改善し、1,215百万円となりました。経常利益は前年同期に比べて1,339百万円改善し、1,262百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べて1,003百万円改善し、761百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は15,776百万円(前年同期比13.5%増)となりました。

	平成29年3月期 前第1四半期連結累計期間		平成30年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	11,098	79.9	12,201	77.3	9.9
アテニア化粧品	2,083	15.0	2,650	16.8	27.2
boscia(ボウシャ)	462	3.3	728	4.6	57.6
その他	251	1.8	196	1.3	△22.0
合計	13,895	100.0	15,776	100.0	13.5

	平成29年3月期 前第1四半期連結累計期間		平成30年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	6,075	43.7	6,656	42.2	9.6
店舗販売	5,063	36.5	5,746	36.4	13.5
卸販売他	1,239	8.9	1,446	9.2	16.7
海外	1,516	10.9	1,927	12.2	27.1
合計	13,895	100.0	15,776	100.0	13.5

ファンケル化粧品は、「マイルドクレンジング オイル」のプロモーション効果や、大手コンビニチェーンへの卸販売の開始、マチュア世代向け化粧品「ビューティブーク」の本格展開などにより、12,201百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

アテニア化粧品は、「アテニア ミッドナイトモイスチャライザー<春夏>」などの新製品効果に加え、ウェブを活用したコミュニケーション戦略によりお客様数が大幅に増加し、2,650百万円(前年同期比27.2%増)となりました。

boscia (ボウシヤ) は、主力の「ブラック シリーズ」が好調に推移したことなどにより、728百万円(前年同期比57.6%増)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は6,656百万円(前年同期比9.6%増)、店舗販売は5,746百万円(前年同期比13.5%増)、卸販売他は1,446百万円(前年同期比16.7%増)、海外は1,927百万円(前年同期比27.1%増)となりました。

営業損益

損益面では、お客様基盤のさらなる拡大のためにアテニア化粧品において戦略的に広告宣伝費を増加させたものの、増収効果による売上総利益の増加により、営業利益は1,836百万円(前年同期比93.5%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は8,399百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

	平成29年3月期 前第1四半期連結累計期間		平成30年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	3,086	40.3	3,269	38.9	5.9
店舗販売	1,876	24.5	2,249	26.8	19.8
卸販売他	2,338	30.5	2,445	29.1	4.6
海外	363	4.7	435	5.2	19.7
合計	7,666	100.0	8,399	100.0	9.6

製品面では、機能性表示食品「カロリミット」シリーズが好調に推移したことなどにより、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は3,269百万円(前年同期比5.9%増)、店舗販売は2,249百万円(前年同期比19.8%増)、卸販売他は2,445百万円(前年同期比4.6%増)、海外は435百万円(前年同期比19.7%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加により、前年同期に比べ191百万円改善し、257百万円の営業損失となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は1,712百万円(前年同期比10.9%減)となりました。

	平成29年3月期 前第1四半期連結累計期間	平成30年3月期 当第1四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	688	590	△14.3
青汁	737	633	△14.1
その他	494	488	△1.3
合計	1,921	1,712	△10.9

営業損益

損益面では、減収となったものの、販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、前年同期に比べて269百万円改善し、40百万円の営業利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて593百万円減少し、85,084百万円となりました。この要因は、流動資産の増加70百万円および固定資産の減少663百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、繰延税金資産の増加などによる流動資産「その他」の増加428百万円と、受取手形及び売掛金の減少353百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、繰延税金資産の減少などによる投資その他の資産「その他」の減少522百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて128百万円増加し、13,403百万円となりました。この要因は、流動負債の増加859百万円および固定負債の減少731百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、未払金の増加などによる流動負債「その他」の増加693百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、退職給付に係る負債の減少746百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて721百万円減少し、71,680百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,826百万円と、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加761百万円および新株予約権の行使に伴う自己株式の処分などによる自己株式の減少526百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.1ポイント低下し、83.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成29年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,609	31,866
受取手形及び売掛金	11,101	10,747
商品及び製品	3,833	3,675
仕掛品	23	51
原材料及び貯蔵品	3,763	3,642
その他	3,273	3,702
貸倒引当金	△79	△90
流動資産合計	53,526	53,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,156	27,237
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,985	△15,146
建物及び構築物（純額）	12,170	12,091
機械装置及び運搬具	8,408	8,422
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,534	△6,642
機械装置及び運搬具（純額）	1,874	1,779
工具、器具及び備品	8,025	8,119
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,772	△6,834
工具、器具及び備品（純額）	1,252	1,285
土地	11,607	11,607
リース資産	268	312
減価償却累計額及び減損損失累計額	△148	△169
リース資産（純額）	119	142
その他	25	57
有形固定資産合計	27,049	26,963
無形固定資産		
その他	2,045	1,991
無形固定資産合計	2,045	1,991
投資その他の資産		
投資有価証券	128	126
その他	2,928	2,405
投資その他の資産合計	3,056	2,532
固定資産合計	32,151	31,487
資産合計	85,677	85,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,307	2,420
未払法人税等	1,088	537
賞与引当金	1,030	1,606
ポイント引当金	1,617	1,646
資産除去債務	2	2
その他	5,264	5,958
流動負債合計	11,310	12,170
固定負債		
退職給付に係る負債	1,303	557
資産除去債務	416	417
その他	245	258
固定負債合計	1,965	1,233
負債合計	13,275	13,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	52,339	51,231
自己株式	△3,170	△2,644
株主資本合計	71,670	71,088
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	119	80
退職給付に係る調整累計額	△159	△151
その他の包括利益累計額合計	△39	△70
新株予約権	771	662
純資産合計	72,402	71,680
負債純資産合計	85,677	85,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	23,483	25,889
売上原価	7,054	7,602
売上総利益	16,428	18,286
販売費及び一般管理費	16,542	17,071
営業利益又は営業損失(△)	△114	1,215
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
受取賃貸料	26	25
雑収入	44	34
営業外収益合計	72	61
営業外費用		
固定資産賃貸費用	8	9
為替差損	17	-
雑損失	9	5
営業外費用合計	36	14
経常利益又は経常損失(△)	△77	1,262
特別利益		
固定資産売却益	0	-
新株予約権戻入益	2	1
退職給付制度移行益	-	5
特別利益合計	2	7
特別損失		
固定資産除却損	4	2
減損損失	59	0
店舗閉鎖損失	3	0
関係会社株式評価損	-	1
その他	0	-
特別損失合計	67	5
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△142	1,263
法人税、住民税及び事業税	407	342
法人税等調整額	△308	159
法人税等合計	99	501
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△241	761
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△241	761

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△241	761
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△66	△39
退職給付に係る調整額	4	7
その他の包括利益合計	△61	△31
四半期包括利益	△303	729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303	729
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社かつ特定子会社でありました㈱ファンケル化粧品および㈱ファンケルヘルスサイエンスは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外していません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	13,895	7,666	1,921	23,483	—	23,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,895	7,666	1,921	23,483	—	23,483
セグメント利益又は損失(△)	949	△449	△229	270	△384	△114

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△384百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	15,776	8,399	1,712	25,889	—	25,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,776	8,399	1,712	25,889	—	25,889
セグメント利益又は損失(△)	1,836	△257	40	1,619	△403	1,215

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△403百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。